

プレスリリース カテゴリー: [農業・農業ICT/IoT・農業フィンテック]

2017年10月発信

報道関係者各位

筑邦銀行との

農業経営者向け経営支援サービスについての包括営業連携のお知らせ

この度、株式会社筑邦銀行（久留米市、福岡証券取引所 証券コード 8398、）と、九州の農業ベンチャーであるテラスマイル株式会社とは、農業経営者向けの経営支援サービスの分野でお互いの強みを重ね合わせた包括営業連携を行うことを、お知らせ致します。

筑邦銀行では、主に福岡県南地域の農業法人の「蓄積したデータの経営への利活用」や「農業者への経営支援」、企業からの農業参入に際したプランニング及びコンサルティングに重点を置いた、農業ソリューションを展開していく予定です。そのサービスの一つの柱として、テラスマイルが持つ知見と技術を活用することとなりました。テラスマイルのAIを活用した営農支援システムである「RightARM（ライトアーム™）」を活用し、事業性評価や融資後の事業サポートも行うプロフェッショナルサービスを目指し、と考えており、プロフェッショナル人材の強化にも取り組んでいきます。

テラスマイルと（株）エムスクエア・ラボ（静岡県菊川市 加藤百合子社長）とが共同で開発したRightARMの特徴は、データ分析を主としたコンサルティングと、人工知能を活用したシステムを組み合わせているところにあります。農業コンサルティングでは、既に7年近くの現場実績があり、経済産業省 九州経済産業局 九州IoT活用事例集 2017でも取り組みが紹介されました。



**【人】現場を知る専門家による
経営アドバイスの仕方を設計**

※81パターンの分析手法から
自分にあったものを選択



**【仕組み】人工知能を組み込んだ
データ自動分析システム**

※このシステムを活用し、
様々な経営レポートを毎月送ります。



RightARM コンサルティングの特徴は、農業者が蓄積した経営データ、ICT データを、81 パターンからなる独自の分析手法で経営分析し、経営課題を抽出するところにあります。

RightARM AI 営農支援システムは、農林水産省 人工知能未来農業創造プロジェクトを通じ、研究開発・実証されたシステムであり、様々な I C T / I o T データを加工・整形し、経営分析レポートを自動生成することが出来ます。また、A I を利用しているため、蓄積したデータから収穫予測、売上予測が行える特徴もあります。

筑邦銀行では、RightARM から算出された分析レポートと、自社の金融サービスを組み合わせ、農業経営者の方が抱える「財務の右腕」としての役割を果たし、地域に貢献していきたいという狙いがあります。この取り組みは、金融とベンチャーとの融合（コネクティッド・インダストリー）となり、九州初の農業フィンテックでの取り組みでもあります。

この度の連携において、初年度となる今年度は、まずは筑邦銀行ソリューション事業部とつながりのある取引先農業者に対し、公的な専門家派遣制度等を活用し、3 回面談の簡易パッケージを提供するものです（農業者は 3 ヶ月間 6 時間／回 ＊ 3 回の時間確保と、蓄積したデータが必要）。加えて、希望者には月報（経営分析レポート）を提供します。

以上

<p>株式会社筑邦銀行 株式会社筑邦銀行 〒830-0037 福岡県久留米市諏訪野町 2456 番地の 1 電話番号：0942-32-5460 テラスマイル株式会社 代表取締役社長 生駒祐一 〒880-2214 宮崎県宮崎市高岡町小山田字麓 973 番地 2 MUKASA-HUB</p>	<p style="text-align: center;"><本件に関するお問い合わせ></p> <p>テラスマイル株式会社 静岡県菊川市堀之内 110-1 エムスクエアラボ内 電話番号 0537-28-7721 メール kaizen@terasuma.jp 担当 金田</p>
--	---